

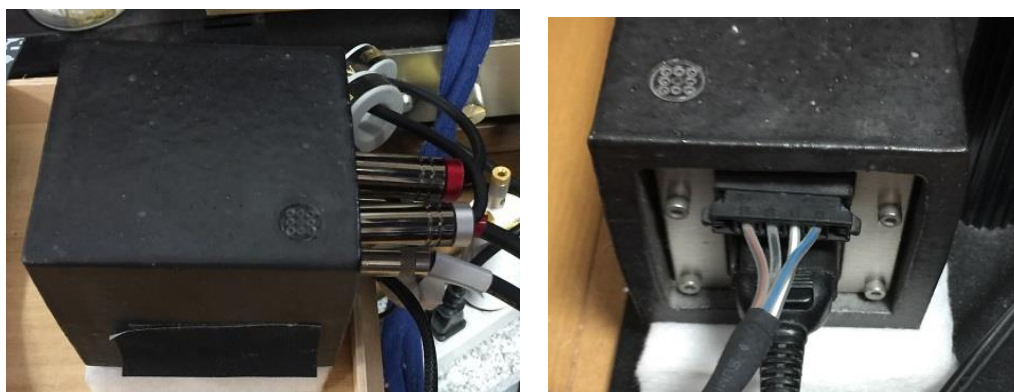
USB ダンパーの導入(17) —電源供給ユニットへの適用(2)—

1. 始めに

前報(16)に引き続き、機器の電源供給ユニットの電源ケーブル差し込み口への適用を行ってみます。

2. USB ダンパーの試聴計画

今回は、47 研のフォノイコライザー4718 信楽の電源供給ユニットへの電源ケーブル差し込み口を USB ダンパーの適用対象とします。1 枚だと、緩くてすぐに抜けてしまいますので、二つ折りにして奥に差し込みます。従って写真では見えません。



再生ルートは次のとおりです。

Garrad401→4716 信楽→TruPhase

なお、カートリッジは ZYX R100-EX で、TruPhase とアンプの Rogers Cadet III には VRA-7 を適用しています。

今回は、Garrad401 で聴きなれた曲のアナログ盤を選定しました。なお、イコライザーカーブや位相の切り替えはできませんので、すべて RIAA の正相で聴いていきます。

LONDON SLC 1138

ファリャ 三角帽子

アンセルメ指揮スイスロマン

ARCHIV(日本ポリドール) 28MA 0020

J.S.Bach チェンバロ協奏曲

トレヴァー・ピノック指揮イングリッシュコンサート

harmonia mundi(Deutche) KUX-3248-H

ミトマニア
ベーレン・ゲスリン
キングレコード SKA-104
愛と自然の歌
倍賞千恵子

3. USB ダンパーの試聴結果

TruPhase とアンプの Rogers Cadet IIIには VRA-7 を適用していますので、このままでも、Garrad401 と 4718 信楽の組み合わせとしては、随分と以前の印象と異なりグレードが上がっています。

4718 信楽の音は伸び伸びとした闊達な音ですが、少し肌理の粗さも感じられ、特に低域の緩みを感じられます。

USB ダンパーを 4718 信楽の電源供給ユニットの電源ケーブル差し込み口に適用しますと、三角帽子は、ティンパニその他の打楽器の明瞭さが増し、金管の切れ味やベルガンサの声の張りがでてきます。

チェンバロ協奏曲は、アンサンブルの分離がよくなり、チェンバロの明瞭さが向上します。その分、本来の位相が逆相であることも明確に認識されてきます。

ミトマニアは、男女のヴォーカルの力強さが増し、バックの古楽器群がきりっと立ち、低域の緩みもかなり改善されます。

倍賞千恵子は、ヴォーカルやバックの伴奏の音がくっきりとし、低域の緩みもかなり改善されます。

4. まとめ

47 研のフォノイコライザー4718 信楽の電源供給ユニットの電源差し込み口への USB ダンパー適用の効果を認めました。

以上